

今回の
テーマ

むし歯



CHECK
POINT

早期治療が重要

一度、むし歯ができてしまうと、自然に治ることはありません。むし歯が重症化すると、治療時間や回数が増えたり、麻酔が効きにくい場合もありますので、**早めの治療が重要**です。

しかし、むし歯の治療は痛くて怖いというイメージがあるため、歯医者に行くのを嫌がったり、泣いて治療ができなかったりすることも多いと思います。一般的に、上手にむし歯の治療ができる年齢は**3歳10か月から4歳くらい**といわれています。年齢が小さかったり、過去の恐怖心などで治療を受け入れられない場合は、様々な方法で治療を受け入れられる環境を作ります。



おく小児矯正歯科のこわくない治療



行動変容法

専門的技法に熟練した歯科衛生士が絵本等を用い、治療のためのトレーニングを行います。



笑気吸入鎮静法

笑気吸入鎮静法を用いて恐怖心を取り除きます。意識があるので会話をすることができます。



天井テレビ

治療台ごとに天井テレビを装備しています。自分の好きな番組を見ることで、過剰なほどに歯に神経が集中している状況から、気持ちが分散され、恐怖心が和らぎます。



全身麻酔

他の方法での対応が難しい場合は、全身麻酔での治療を行います。

